

寿山校区社会福祉協議会

～住民主導の福祉の風土づくり～

寿山校区は、小倉北区のシンボルともいえる足立山山麓に位置し、自然豊かで名勝に恵まれた地域です。史跡や文化財も多く、古くからの住宅地でもあります。

11町内から成り、総世帯数は、約4,750世帯、人口は約9,000人、高齢化率は28%を越えています。

寿山校区社協（初野恭敬会長）の「ふれあいネットワーク事業」は、平成8年度から取り組みが開始され、福祉協力員が民生委員や老人会などと協力して見守り活動等を展開しています。

まずは、認知症を正しく知ること!!

寿山校区社協が、認知症サポーター養成講座を開催するキッカケとなったのは、平成20年度に市・区社協が実施した「リフレッシュ&フレンドシップ事業」への参加でした。

視察先である若松区青葉台地区社協の取り組みを知り、高齢化率の高い寿山校区でも多くの住民が認知症を正しく理解する必要があると考え、講座を企画しました。

地域の活動者が、これまでに知らなかった認知症に関する知識や正しい理解を得ることで、日ごろの見守り活動や心配な方への声かけなどに役立てています。

秋に行われる寿山のまつりでは、地元高齢者施設と連携し、入所者をお招きして、認知症のある方でも気軽に参加できるような環境づくりに努めています。



また、12月の餅つき大会では、地域の高齢者や子どもたち、障害のある人なども参加し、世代間の交流を深めて楽しいひと時を過ごしました。

福祉協力員らが呼びかけて開催する「ふれあい昼食会」では、毎月50人程度が参加し、健康講座や体操、レクリエーションなども併せながら、高齢者の引きこもり防止や認知症予防に励んでいます。



今後も多くの住民へ、認知症に対する正しい理解を広め、ふれあいネットワーク事業を通じて、地域で認知症のある人やその家族を支えていき、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていきます。

「まずは、みんなが知ることから」

寿山校区社協会長 初野 恭敬

